

## 損益分岐点図表を描く

---

このシートは、主に損益分岐点図表の書き方についての解説です。  
(固定費・変動費についてはすでに理解している前提です)

OHP シートや手配りシートとして活用してください。

---

### ● インストラクション手順例

(解説例)

『損益分岐点』とは、損失と利益の分かれ目となる売上高のことです。つまり、売上高と費用が一致する収支トントンの金額です。

一定期間の売上高が損益分岐点を上回って増加すれば利益が生じ、分岐点を下回れば損失が生じます。

損益分岐点を分析するということは、売上高と費用と利益の関係をつかむことです。たとえば、次のような意図から分析が行われます。

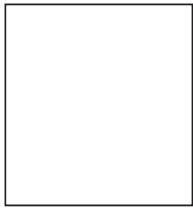
- ・現在の収益構造は妥当か？どこを見直すべきか？
- ・果たして採算はとれるのか？
- ・目標利益をあげるためには、いくら売上をあげたらいいのか。

損益分岐点分析を行うために、損益分岐点図表が用いられます。

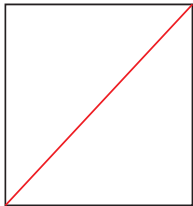
ここでは、損益分岐点図表の描き方について理解しましょう」。

\*シート 1) を OHP で参照し解説した上で、2) の練習問題をやってもらう。

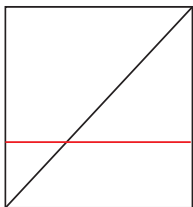
## ■ 1) 損益分岐点図表の描き方 (手順)



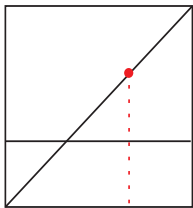
1. 正方形の図表を描き、縦軸には売上高・費用・損益の金額目盛りをとる。横軸には売上高の金額目盛りをとる。



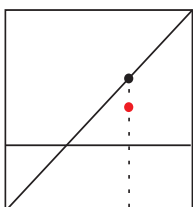
2. 左下隅の0点から右上隅に対角線を引く。  
(→売上高線)



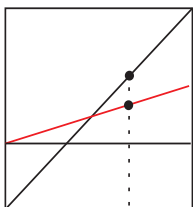
3. 縦軸に固定費の目盛りをとり、横軸に水平になるよう固定費線を引く。



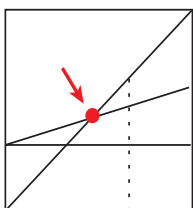
4. 売上高に対応する金額のところに縦に垂直に線を引く。



5. この垂直線上の固定費に積み上げるように変動費の点を取る。



6. この変動費の点から売上高0の固定費線に向けて直線を引き、総費用線を描く。

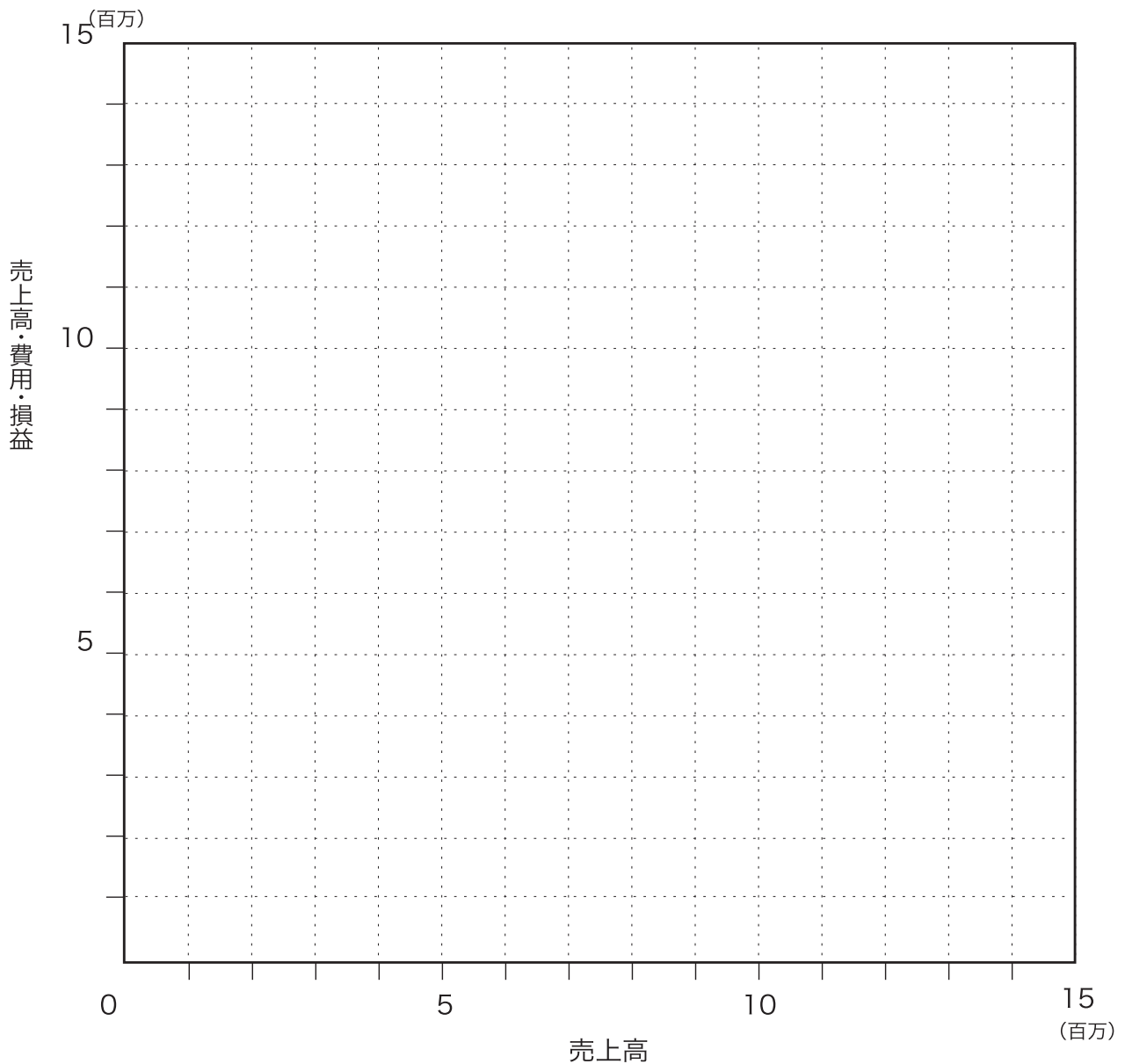


7. この総費用線と売上高線の交点が損益分岐点となる。

## ■ 2) 損益分岐点図表を描いてみよう (練習問題)

## B 社

|      |         |
|------|---------|
| 売上高  | 1,100万円 |
| 変動費  | 660万円   |
| 限界利益 | 440万円   |
| 固定費  | 300万円   |
| 利益   | 140万円   |



## ■ 3) 損益分岐点図表を描いてみよう (解答)

